

は じ め に

本校は、明治6年6月22日、葉鹿小学校として開校して以来、平成30年6月で創立146年目をむかえます。その間、行政の上では、葉鹿町立の時代や坂西町立の時代を経て、昭和37年に足利市立葉鹿小学校となりました。

本校の位置する葉鹿地区は足利市の西部にあり、北は山地に囲まれ、東に松田川、南に渡良瀬川が流れる自然の豊かな土地柄です。近年は、田畑の宅地化、中規模店舗の進出が進み、都市化の傾向を呈してきています。わたしたちは、この学校と地域の長い歴史と伝統を感じながら、地域の方々の学校に対する大きな期待と熱い教育愛に支えられて今にいたっていることを踏まえて、地域とのつながりを意識しながら本校の教育を大切にし、発展させていかなければならないと考えます。

32年度の新学習指導要領完全実施を控えた今年度ですが、国際化、情報化、少子高齢化社会を力強く生き抜いていくためには、生きる力の育成、すなわち「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」の育成が重要であることに変わりはありません。

現行の学校教育目標については、設定されてから9年が経過しました。そこで、29年度末には各方面のアンケート結果を踏まえ見直しを行いました。教職員・保護者・地域の方々の願いや考えが、現行の学校教育目標でも十分であると判断いたしました。このような状況の中で、本校の学校教育目標は、「足利市の教育目標」の下、

「自ら考え進んで学習する子」「思いやりがあり協力しあう子」「健康で明るい子」という目標で継続設定されています。

本校は、この学校教育目標の達成のために、教職員が「チーム葉鹿」として、心一つにし、組織体として、物的・人的条件を備えて、教育活動が生き生きと展開されることが大切です。そのためにも、教職員一人一人の持ち味が、学級経営に活かされるよう十分配慮し、各方面のつながりを重視しながら、無理なく・無駄なく・むらのない教育活動が継続・実践され、日々の教育活動を見なおしながら、適宜改善を図っていかねばならないと考えます。

平成30年4月1日

足利市立葉鹿小学校長

慶野 八郎